

学校評価アンケート結果より

大寒の候、保護者の皆様には、臨時休校によりご心配をおかけしております。平素は、本校教育活動推進にご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

さて、本年度の学校教育目標を、「世界で活躍する日本人の育成」とし、中期目標を「世界を視野に夢にチャレンジ」としました。目指す児童生徒像として、「自ら学ぶ意欲をもち、確かな学力を身に付ける児童生徒」「健やかで、たくましい心と体づくりに努める児童生徒」「お互いの違いを認め合い、思いやりのある行動ができる児童生徒」「自他の文化を尊重し、国際人として歩む児童生徒」とし、楽しくわかりやすい授業の展開や児童一人一人が安心して豊かに生活できる学級、学年、学校、教科経営を目指して教育を進めて参りました。

本年度の学校の取り組みを、昨年11月に全学年の保護者の皆様と4年生から6年生の在校児童を対象にアンケートを実施いたしました。今回の学校評価アンケートの結果は下記の通りです。

1 保護者アンケートより

※児童総数 289 人(11 月末)中、207 人の保護者回答（回答率 71.6%）をいただきました。

(A：そう思う B：ややそう思う C：あまり思わない D：思わない E：わからない) (%)

質 問 項 目	A	B	C	D	E	質 問 項 目	A	B	C	D	E
①楽しく分かりやすい授業を行っている	51	40	7	0	2	⑩先生とよく話し、良好な関係を築いている	36	35	18	5	6
②道徳で思いやり等の大切さを学んでいる	40	38	14	3	5	⑪健康や体力向上、安全指導に努力している	42	44	11	0	3
③目標をもち、それに向かってやり遂げようとしている	51	37	7	2	3	⑫保護者からの相談に丁寧に対応している	46	36	10	1	7
④校外学習等の体験学習の充実を図っている	65	29	3	2	1	⑬いじめや人間関係に問題がないように指導している	34	38	12	1	15
⑤体験学習を楽しみにしている	92	6	0	1	1	⑭バスのマナー等を守って登下校している	32	40	15	5	8
⑥児童に力を発揮できる場や機会を設けている	38	40	15	2	5	⑮施設・設備の安全について配慮を行っている	50	40	3	0	7
⑦楽しい学校生活を送っている	63	31	4	1	1	⑯校内の環境が整えられている	59	34	5	1	1
⑧気持ちのよい返事やあいさつができています	44	44	8	2	2	⑰各種だよりやHP等で情報提供を行っている	56	33	8	2	1
⑨望ましい生活習慣や規範意識を育てている	43	44	9	0	4	⑱家庭と連携して教育活動を行っている	42	38	15	2	3

2 児童アンケートより (4年生から6年生)

※児童総数 140 人(11 月末)中、138 人の児童回答（回答率 98%）がありました。

(A：そう思う B：ややそう思う C：あまり思わない D：思わない E：わからない) (%)

質 問 項 目	A	B	C	D	E	質 問 項 目	A	B	C	D	E
①授業は楽しく分かりやすいですか	60	32	5	0	3	⑨きちとした態度で生活をしていますか	61	30	5	1	3
②道徳で自分の考えを発表していますか	47	48	3	2	0	⑩先生へ困ったことは、相談していますか	33	38	23	4	2
③目標に向かって、やり遂げようとしている	50	37	10	1	2	⑪けがに気をつけて運動に取り組んでいますか	64	26	8	1	1
④校外学習等で知らないことを学んでいますか	76	22	1	1	0	⑫質問や困ったことを聞いてくれますか	64	25	5	1	5
⑤体験学習を楽しみにしていますか	82	14	4	0	0	⑬先生は仲良く生活するように話していますか	68	23	5	1	3
⑥自分で活躍できる場や機会はありますか	48	30	13	5	4	⑭バスのマナー等を守って登下校できていますか	60	35	5	0	0
⑦楽しい学校生活を送っていますか	74	20	3	2	1	⑮体育館や教室等で危険な場所がありませんか	30	17	6	30	17
⑧気持ちよい返事やあいさつができていますか	32	54	13	3	0	⑯自分の作品が教室や廊下に掲示されていますか	55	29	6	2	8

保護者アンケートより、本校の教育活動に対して、多くの項目で、「そう思う」、「ややそう思う」の総計で80%以上の評価をいただきました。保護者の皆様から、概ね小学部の教育実践に対してご理解・ご協力をいただき、充実した教育活動が進められていると考えています。今年度は、保護者アンケートと児童アンケートを比較しながら分析と考察をしてみました。

【 分析と考察 】

保護者アンケートで18項目中、13項目以上で「そう思う」、「ややそう思う」の総計で80%以上の肯定的な数値を得ることができました。また、それ以外の項目でも70%以上の数値を得ることができました。

児童アンケート（4年～6年）では、16項目中、13項目以上で「そう思う」、「ややそう思う」の総計で80%以上の数値を得ることができました。ただ、児童の項目⑮「施設・設備」の項目は回答の仕方が難しく適切に検討する必要があります。

保護者と児童のアンケートの比較から、分析・考察してみると下記のようになります。

1 保護者、児童とも【A+B】の数値が高かった主な項目として

- ①「楽しくわかりやすい授業を行っている」 保護者（91%） 児童（92%）
- ③「目標に向かってやり遂げようとしている」 保護者（88%） 児童（87%）
- ⑦「楽しい学校生活を送っている」 保護者（94%） 児童（94%）
- ⑧「気持ちよい返事やあいさつができています」 保護者（88%） 児童（86%）

上記の項目は、保護者、児童とも高い数値であり、①「分かりやすい授業の実践」や③「目標に向かって頑張ることの大切さ」等を意識して今後とも指導の継続をしていきます。また、研修会等を通して教師一人一人指導力向上を図り、特に若手教員の授業力の向上を図ります。

⑦「楽しい学校生活」では、これからも子ども同士、子どもとの会話を通して良好な関係づくりに努めます。

⑧の返事や挨拶では、教師が自ら意識して100%達成を目指して取り組んでいきます。

2 保護者、児童とも【A+B】の数値やや低かった主な項目として

- ⑥「一人一人が力を発揮できる場や機会を設けている（ある）」 保護者（78%） 児童（78%）
- ⑩「先生とよく話をし、困ったことは相談している」 保護者（71%） 児童（72%）

⑥項目については、教師も一人一人を意識して多くの児童に発表する機会等を設けているが、やや発表が苦手な児童に対して自信をもたせる工夫をしていきます。今後も計画的に発表する場を設けていきます。

⑩については、教員が自ら進んで（意図的に）クラスの児童を話かけることにより、児童からも安心して話しかけてくれるような関係を築いていきます。そのためには、児童といろいろな場での何気ない会話が良好な関係を繋がると思っています。

3 保護者と児童の数値の差【A+B】が大きかった主な項目として

- ②「道徳で思いやりを学んでいる（考えを発表している）」 保護者（78%） 児童（95%）
- ⑬「人間関係のトラブルがないようにしている（先生は仲良くするように）」 保護者（72%） 児童（91%）
- ⑭「バスのマナー等を守って登下校している」 保護者（72%） 児童（95%）

②道徳の授業では、友達のいろいろな発表から多くの価値を学んでいます。保護者へは、道徳の授業参観や学級便り等で道徳の授業で学習した内容について機会を見つけて知らせていきます。

⑬友人関係のトラブル等については、話し合いを通して、良好な関係づくりに努めていきます。保護者とは、児童のことで心配ごとがある場合は連携を密にして信頼関係を築いていきます。

⑭のバスのマナーに関しては、多くの児童は肯定的ですが、保護者の「C+D」、わからないと回答が3割弱の数値であるので、バス利用者と必要に応じて、一つ一つ対応をして改善につなげていきます。

今回のアンケートの数値的な結果の分析や保護者から頂いた具体的なご意見やご要望を真摯に受け止め、職員全員で共通理解をしました。今年度も残り少ない日数ですが、このまま継続していく項目や改善できる項目を意識し教育活動を進めていきます。

最後になりますが、次年度に向けて全職員で共通理解を図るとともに組織的に具体的な方法・手段を考え、より良い学校づくりを進めていきます。今後とも保護者の皆様のご理解とご支援をお願いいたします。